

2023年11月22日

### 島根中央信用金庫 2023年度上半期の業績について

島根中央信用金庫(島根県出雲市今市町 理事長 福間均)の2023年4月~9月の業績は、純利益が前年同期比 18.9%増の 5 億 73 百万円で中間期としては 2 期ぶりの増益となりました。

売上高にあたる経常収益は 22.5%増の 28 億 31 百万円でした。個人の住宅ローンや法人向け貸し出しが伸びて貸出金利息が増加し、2 期連続の増収となりました。経常利益は、20.8%増の 7 億 89 百万円でした。

本業での最も中核的な利益を示すコア業務純益(投資信託解約損益を除く)は、21.7%増の 6 億 96 百万円と 9 期連続増益でした。

自己資本比率は前年同期比 0.23 ポイント上昇の 9.26%、不良債権比率は 0.43 ポイント改善の 4.87%でした。

預金残高は 2,906 億円、貸出金残高は 1,616 億円で、ともに中間期末の過去最高を更新しました。

通期の業績予想は、経常収益が前年同期比 6.4%増の 49 億 68 百万円、経常利益は 25.5%増の 11 億 39 百万円、純利益は、法人税の増加により 21.1%減の 7 億 2 百万円を見込んでいます。

単位:百万円、%

	2023年			2022年 9月期
	9月期	前年同期比	増減率	
預金残高	290,666	9,353	3.3	281,313
貸出金残高	161,686	10,881	7.2	150,805
経常収益	2,831	520	22.5	2,310
経常利益	789	136	20.8	653
当期純利益	573	91	18.9	482
コア業務純益	696	124	21.7	571
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	696	124	21.7	571

- 売上高にあたる経常収益は、前年同期比 5 億 20 百万円(22.5%)増収の 28 億 31 百万円となりました。2 期連続の増収でした。
  - 個人の住宅ローンや法人向け貸出しが増加し貸出金利息が 93 百万円増加しました。利回りの上昇で有価証券利息配当金も 42 百万円増加しました。
- 経常利益は、1 億 36 百万円(20.8%)増益の 7 億 89 百万円となりました。
  - 貸出金残高の増加や資金運用利回りの上昇により資金利益が 1 億 84 百万円(10.4%)増加しました。
  - 人件費が 15 百万円(2.0%)増加、物件費が 38 百万円(9.6%)増加、取引先の倒産に備えた与信費用が 92 百万円増加しましたが(前年同期では 29 百万円の戻入でした)、経常利益は 5 期連続の増益となりました。
- 当期純利益は、91 百万円(18.9%)増益の 5 億 73 百万円でした。中間期としては 2 期ぶりの増益でした。
- 本業での最も中核的な利益を示すコア業務純益(投資信託解約損益を除く)は、21.7%増の 6 億 96 百万円でした。
  - 中間期としては、9 期連続増益の過去最高益でした。
- 預金残高は 3.3%増の 2,906 億円、貸出金残高は 7.2%増の 1,616 億円で、いずれも中間期末の過去最高残高でした。
  - 預金残高は、「地域応縁！定期預金」シリーズが好評で、個人のお客様を中心に 93 億 53 百万円(3.3%)増加しました。
  - 貸出金残高は、個人向けの「住宅ローンぬくもり 130」が増加したことや、取引先企業への伴走支援の強化及び与信判断の迅速化を進めたことで、108 億 81 百万円(7.2%)増加しました。



本件に関するお問い合わせ先  
 島根中央信用金庫 経営企画部 竹下・三島  
 0853-20-1000

※「ユースエール認定制度」とは、若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度です。当金庫は西日本の金融機関として唯一の認定を受けました。